コミュニケーション能力を高めた コミュニケーション能力を高めた コミュニケーション能力を高めた コミュニケーション能力を高めた コミュニケーション能力を高めた

そして、子どもの読書活動は、言葉の学習や表現力向上のほか、言葉の学習や表現力向上のほか、可思なにないするなどの効果があり、脳と心の両方の成長に欠かすことのできないもので表に欠かすことのできないものできないものことから、市では、学校や図書館、地域などで読書環の充実を図る取り組みを進めています。

今回は、都城のさまざまな読書 一次である「本と触れ合い、本を がな心が育めます。 かな心が育めます。

◎問い合わせ

秘書広報課 23-3174

紀元前に本の祖形が生まれたとい

歴史などの記憶を伝えるため、

われています。その後、記憶の伝







でいます。<br/>
都城の「読書の拠点」ともいえる市立図書館。多くの人が利用し、<br/>
あさまざまな出会いの工夫を施しのさまざまな出会いの工夫を施し

本と出会うきっかけづくり

市立図書館の空間デザインのコンショッピングモールを改修した

購入の参考にしています。

歩いて何かを よちなかで、ストリート」。 ひょうしい

です。 です。 です。



購入する本を選ぶ「選書」は、 関書館の重要な仕事の一つです。 図書館の重要な仕事の一つです。 図書館の重要な仕事の一つです。



















泉さん(蔵原町)

旧図書館はほとんど利用して いませんでしたが、新図書館に なってから、利用回数が大幅に増 えました。広くなって座席が増え たことで、読書しやすい環境に なったと思います。生け花を教え ている私は、生け方のヒントを得 るため、植物や陶芸など専門外の 本も読みます。新図書館は、読み たい本の近くに関連分野の本が並 べられているので、新しいひらめ きが生まれます。これからも、新 図書館を上手に活用したいです。

※開催日時など詳 に耳を傾けます。 確認ください しくは、図書館 



て触れ合う本に目を輝かせ、 を読み聞かせ。子どもらは、 まる」では、 にしています。 11 |月9日開催の「おはなしまる 10冊の絵本や紙芝居

もの感性を豊か にわ」で毎週、図 の出会いが、子ど ティアが行う読 書館員やボラン み聞かせ会。本と

TOPIC

# コンセプトブックを発行しました!

生まれ変わって1年を迎えた市立図 書館の、開館に関わった人の思いなど を紹介する「コンセプトブック」を発 行しました。市立図書館で配布してい ますので、ぜひ、ご覧ください。

生涯学習課 ☎23-9545





児童が本に親しみを持ちながら

# INTERVIEW



東小学校図書館サポーター 野村 芳美さん(千町)

もともと本と子どもが好きで、 平成28年4月から東小学校の図書 館サポーターとして、毎日楽しく 活動しています。児童が本を読み たくなる工夫として、貸し出し冊 数に応じた読書ビンゴやパズルな どのイベントを企画し、手作りの しおりなどを景品にプレゼントす るなど、楽しみながら読書量を増 やす環境を整えています。多くの 児童が本に触れ合える場所を、こ れからも提供していきたいです。



南小学校読み聞かせボランティア <sub>あい</sub> **愛**さん (大岩田町) 濱畑

子どもたちに読書を通して得 られる本のぬくもりを伝えたいと の思いから、南小学校で読み聞 かせボランティアを始め、6年目 になりました。同校では、1時間 目が始まる前に週に1回、保護者 による読み聞かせを行っています。 ただ読むのではなく、クイズや ジェスチャーを取り入れ、楽しみ ながら読み聞かせています。児童 の想像力を膨らませる手助けにな るよう、続けていきたいです。

キル向上のため定期的に研修会を 室を利用しています。 30年度は8割を超える児童が図書 利用児童の割合は年々増加。平成 り組みにより、週1回の図書室の りすることで、読書環境の一層の 行ったり、市立図書館と連携した います。併せて、サポーターのス 充実を図っています。これらの取

**(**サ



ど、児童が本と触れ合う場所と機

んだり、読み聞かせを行ったりな

会を提供しています。

す。また、教材として使う本を選 を高める環境づくりを行っていま 職員と連携し、児童に本を薦めた

サポーターは、学校の図書担当

たりしながら、本への興味と関心

季節に応じた掲示物を作成し

ポーター)」を配置しています。 ら「小学校図書館サポーター らうため、市では、平成22年度か 校図書館(図書室)を利用しても 読書習慣を身に付け、積極的に学

耳を傾けていました。 紙芝居や絵本の読み聞かせが行わ 読み聞かせでは、2年生の教室で 11月12日に南小学校で行われた 児童らはキラキラした表情で

# 読み聞かせボランティア

市では、サポーターの配置を拡

令和元年度は26人が活動して

アは、出勤前や昼休みを利用して シニア世代の人など、さまざまな 民やNPO法人が、無償で読み聞 せボランティア」が活動。地域住 参加する現役世代の人や退職した かせを行っています。ボランティ 人が参加しています。 児童に読書の楽しさを伝えるた 市内の小学校では「読み聞





# Miyakonojo City Public Relations 2019.12

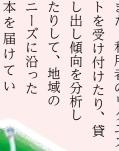
# 身近なが

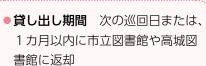
# 移動図書館車 くれよん号

顔を運んでいます。 号をリニューアル。本とともに笑 触れ合える機会を提供するため くい地域の人などに対し、本と 実を図るため、図書館を利用しに 23年目を迎えた今年は、くれよん 「くれよん号」の巡回をしています。 に、平成8年度から移動図書館車 くれよん号は、約4千冊の本を 市立図書館では、サービスの充

> 本を楽しめるよう、毎日、 26カ所を巡回。利用者が新たな 積み、火曜日から土曜日の間、 小学校や地域の公民館など市内 本 各

また、利用者のリクエス トを受け付けたり、貸 の入れ替えも行っています。





●貸し出し冊数 8冊まで

※市立図書館・高城図書館での貸し 出し数を含む

●巡回スケジュール 図書館ホームペー ジで確認できます





サンバー プレートが < n よんごう

# 高城図書館・地区公民館

ミュニティの場としてさまざまな ています。 世代の人が利用し、笑顔が生まれ を通じて人々が集い、 貸し出しなども行っています。 民館の利用者が自由に閲覧でき、 りそろえた図書コーナーでは、公 中でも、寄贈された多数の本を取 も、市内には高城図書館や各地区 公民館の図書コーナーがあります。 市立図書館やくれよん号の他に 地域のコ 本

# 本を読む、心を育む

ドバイスしたりします。

赤ちゃ

せを行ったり、絵本の選び方をア 師や図書館員などによる読み聞か

また、相談時に、読み聞かせ講

の触れ合いの時間を共有すること 語り掛けられる心地良さと愛情を パパやママなど大好きな家族から えのない思い出になります。 感じること。親と子が楽しい本と んにとって「本との触れ合い」は、 子どもの感性を育み、かけが

INTERVIEW

ブックスタート 初めての本との出会い

クスタート」を行っています。 提供しています。 ント。初めて本と触れ合う機会を カ月相談の機会に、絵本をプレゼ んに絵本をプレゼントする「ブッ 市では、平成26年度から、赤ちゃ

**南園 明**さん、**采芭**ちゃん親子 (下長飯町)

娘が4カ月を過ぎた頃から、 ブックスタートでもらった本 や図書館で借りた本を、入浴 する前に毎日、読み聞か せています。

ブックスタートでも らった絵本 [おやすみ] を 読み聞かせたとき、最初 の頃は、ジッと耳を傾けて いるだけでしたが、次第に絵 やページをめくる動作に興味 を示し、笑顔で喜んでくれ るようになりました。私も 幼い頃に、母からたくさん の本を読んでもらい、本が好 きになりました。母のように、 これからも子どもに本をたく さん読んで、本の好きな人に 育ってほしいです。







発達した現在、「読書離れ」

さまざまな情報メディアが

インターネットをはじめ

が指摘されています。しか

活を楽しんでみたいと思い

の環境が充実している都城 能性をもある「読書」。 らやましく感じました。 のような錯覚すら覚え、 世界の扉を開いている」か 私は、その人らが「新し ころ読書をしていなかった になっていました。このと がら、まさに「読書に夢中\_ 鼻を膨らませていたりしな かった、本を読む人たちの ることを実感しました。 表情。目を輝かせていたり、 さまざまな環境が都城にあ し、今回の取材を通して、 本と触れ合い、本を読む. 新しい世界の扉を開く可 そして、取材時に印象深 私も、本と触れ合う生 う

新しい世界の扉を開く 【取材を終えて】